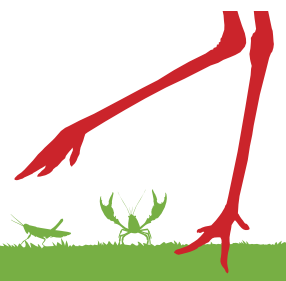


# キコニアレター

2020.10.1発行 No.24



## 各地の巣塔紹介

京都府京丹後市久美浜町市場巣塔のペアは、オスのJ0150とメスのJ0154です。ともに2017年生まれの3歳です。3月上旬頃から市場巣塔で繁殖活動が確認され、4月下旬には2羽のヒナ(J0307、J0308)が誕生しました。その後順調に成長し、6月下旬に無事に2羽とも巣立ちました。地域の皆さんには、「なでしこ」(J0307メス)と「千年(せんねん)」(J0308オス)という愛称を頂戴しており、コウノトリ親子を温かく受け入れていただいています。

野外コウノトリの個体数が200に達した場所が、老舗の豊岡市内でなかったことは、全国に繁殖地が拡大し、どの地においてもコウノトリ野生復帰に大きな展開が起こりえることを意味しています。

これまで、コウノトリの個体数という量が注目されてきましたが、今後、野外個体群の存続可能性を高めるには、質、すなわち遺伝的多様性の向上が求められます。また引き続き、全国各地でコウノトリが生息・繁殖できるだけの餌を保障する、環境収容力の向上が必要であることは言うまでもありません。

国内の野外コウノトリの個体数が100を超えるのに12年かかりましたが、その後、わずか3年で倍の200に達しました。野外の繁殖ペア数が増加し、これにともなって巣立ち個体数が急増した結果に他なりません。関係の皆様のおかげで、この努力や思いによって、200羽というひとつの節目を迎えることができましたことに感謝しています。

また、兵庫県立コウノトリの郷公園が進めてきたコウノトリ野生復帰の取り組みが間違っていないことを改めて実感しています。

また、兵庫県立コウノトリの郷公園が進めてきたコウノトリ野生復帰の取り組みが間違っていないことを改めて実感しています。



兵庫県立コウノトリの郷公園 園長

江崎 保男  
EZAKI Yasuo

## 野外コウノトリ200羽到達 2020年6月25日、日本の野外コウノトリ 個体数が200に到達しました。

### コウノトリの個体数 (2020.10.1時点)

施設・拠点名	オス	メス	不明	計
兵庫県立コウノトリの郷公園	28	32	0	60
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	18	15	2	35
養父市伊佐拠点	1	1	0	2
朝来市三保拠点	0	0	0	0
計	47	48	2	97

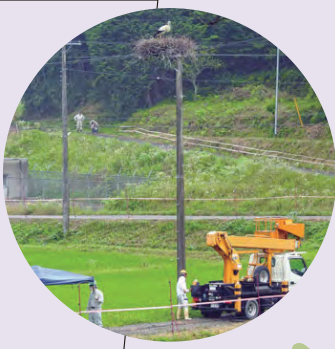
野外 カテゴリー	オス	メス	不明	計
兵庫県放鳥	18	15	0	33
兵庫県野外巣立ち	49	73	0	122
野生個体	0	1	0	1
他府県放鳥	12	5	0	17
他府県野外巣立ち等	21	30	3	54
計	100	124	3	227

# 2020年 新規繁殖地の拡大

今シーズンも新たな繁殖地が誕生しました。現在コウノトリは全国各地で飛来が確認されており、繁殖地も徐々に増えてきています。今年新しく繁殖が確認された5つの市の様子を紹介します。

## 京都府綾部市

京都府綾部市は、京都府内では4カ所目の繁殖地となります。オス親(J0174)は2017年に島根県雲南市で生まれましたが、自分の母鳥が誤射されて死亡するという事故のため、ヒナの段階でいったん保護されたことがあります。その後、県立コウノトリの郷公園での人工飼育を経て成長し、同市で放鳥された個体です。昨年も綾部市に滞在していましたが、今シーズンは新規ペアとなって定着しました。今シーズンは1羽のヒナが誕生し、巣立ちました。



## 栃木県小山市

栃木県小山市の渡良瀬遊水地での繁殖は、1971年の野生コウノトリの絶滅後、東日本では初めてのことで。

今回新たに繁殖したペアは、オス親(J0128)が2016年に千葉県野田市で放鳥された個体です。メス親(J0181)は2018年に徳島県鳴門市の電柱巣を巣立った個体です。遠く離れた地で生まれ育ったそれぞれの個体が出会ってペアとなり、小山市という新たな地を選んで定着しました。

また、小山ペアの特筆する点として、メス親が2歳であることが挙げられます。2歳のメスによる産卵はこれまでに2例確認されていますが、ふ化に至ったケースは今回が初めてのことであり、コウノトリの新しい発見と言えるでしょう。

誕生した2羽のヒナは無事に巣立ちました。来シーズン以降、東日本における繁殖地のさらなる拡大が期待されます。



## 兵庫県豊岡市

市内で新たに3カ所の繁殖地が増えました。豊岡市河谷(ヒナ2羽巣立ち、以下巣立ちヒナ数のみを表示)、同市下鉢山(2羽)、同市森尾(1羽)です。森尾地区では3月頃に電柱に営巣を繰り返すペアが確認され、初のペア定着と繁殖を歓迎する同地区からは、人とコウノトリが共に安全に生活ができる巣塔の設置について強い要望が出されました。その思いを受け、但馬県民局、県立コウノトリの郷公園、豊岡市が一体となって、緊急に巣塔の移設を行ったことが功を奏し、同地区にコウノトリが定着して繁殖が無事成功しました。



## 兵庫県朝来市

市内2カ所が新たな繁殖地になりました。朝来市和田山町久田和(2羽)と同市山東町三保(産卵のみ)です。とくに、久田和巣塔は地元住民によって昨年11月に建設されました。また、各巣塔の周辺では、「コウノトリ育む農法」を行う田んぼが増えてきています。2カ所のペアはともに昨年からの各巣塔周辺を滞在する様子を確認されており、今シーズンは定着して繁殖活動に至りました。



## 鳥取県鳥取市

鳥取県鳥取市気高町では、昨シーズン同市内の鉄塔に営巣したペアを、安全な人工巣塔に定着させる取組を行い、成功しました。この鉄塔は高さが約40mあり、巣立ち前後のヒナの安全を確保できないおそれがあるため、昨年12月に鉄塔の巣を撤去し、再度営巣できないように防鳥ワイヤを設置しました。今年に入って気高町の地元住民が高さ約13mの人工巣塔を設置したところ、4月頃から同ペアが営巣を始めました。人工巣塔では3羽のヒナが誕生し、3羽とも無事に巣立ちました。



あらゆることが計画通りにいかない今年。学問の府でありながら学問に存分に打ち込めない状況が続くなか、先日おこなわれた合同ゼミでは、不自由な環境のなかでできることを精一杯とりくんでいる学生たちの姿がきわだった。

人間社会の狂騒をよそに、自然は淡々と変化してゆく。但馬を暑い夏が駆け抜けて、そろそろと秋がやってきた。

夏深き 杜の下陰 風すぎて 梢をわたる 日ぐらしの声  
(藤原忠良『正治初度百首』)  
(望鶴生)

# 足環装着作業について

今回はコウノトリの足環装着作業について紹介します。今年は4月から7月にかけて、コウノトリのヒナに足環を装着しました。

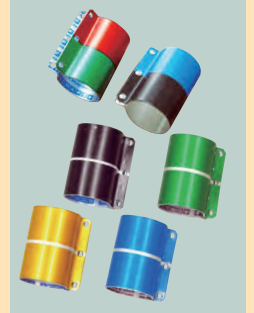
## なぜ足環を装着するの？

コウノトリを1羽ずつ区別する（個体識別）ために、足環をつけています。識別することによって、コウノトリの性別、年齢、ふ化した場所、親や兄弟との血縁関係などがわかります。複数の個体の情報が集まると、コウノトリの社会性が見えてきて、様々なことがわかります。

2005年にコウノトリを放鳥してから韓国や中国にも飛来しましたが、足環を装着していることから個体識別ができました。

## 足環ってどんなもの？

現在は金属製のリングを野外のコウノトリの両足に装着しています。アルミ合金でできており、1つの重さが約9gです。色は5色あり、黒、黄、赤、青、緑です。この中から片足に2色ずつの計4色の色を組み合わせています。同じ色を並べて使用することもあります。



## 足環装着作業をどうやって行うの？

### ①作業時期

ヒナがふ化してから43日齢前後に足環を装着します。この頃のコウノトリのヒナは、足の太さが親鳥とあまり変わらないくらいまで成長し、足環が抜け落ちてしまうという心配がありません。また、ヒナはまだ巣から飛び立ちませんので、巣から誤って落下する事故のリスクが少ない点も考慮しています。



### ②ヒナの捕獲

巣塔の高さは約13mありますので、高所作業車を準備して作業します。ヒナの捕獲にあたっては、親鳥が巣から離れている必要がありますので、親鳥の動きを確認しながら作業を行います。ただ、高所作業車に乗り込む捕獲スタッフは、巣塔の真下に入り込んでしまうため、巣塔上の様子を直接見ることはできません。そのため、少し離れた場所から、観察スタッフがフィールドスコープ等で親鳥やヒナの様子を観察し、無線で連絡を取りながら作業します。

親鳥が離れたことを確認し、ヒナが伏せているタイミングで捕獲します。もし、ヒナが巣の上で立っているときに捕獲を試みると、巣から落ちてしまう危険性があるので注意します。

捕獲したらヒナの目の部分を布で覆います。こうすることでヒナは落ち着きます。その後、麻布を敷いた箱に入れ、地上まで降ろします。ヒナが複数羽いる場合は、1羽ずつ箱に入れて運びます。



### ③足環装着

足環を装着する前に、足の関節の太さをノギスで正確に計測します。足環が抜け落ちたり、関節に挟まったりしないかを確認してから装着します。装着時のミスを防ぐため、スタッフは作業内容等を声に出して確認し合いながら作業を進めます。また、体重測定や体温・脈拍の計測などの健康チェックや、羽毛・血液の採取を同時に行います。

長時間ヒナを巣から離してしまうとヒナへの負担が大きくなるため、これらの作業はできるだけ素早く行います。



### ④ヒナの解放

地上での作業が終わったら、再び高所作業車で巣塔まで上がり、ヒナを巣に戻します。最後に親鳥が巣塔に帰ってくれば足環装着作業はすべて終了です。ヒナ解放後の作業スタッフは、観察スタッフを除いてすみやかに現場から離れることで、親鳥の警戒心を解くようにしています。



# INFORMATION

## YouTubeチャンネルの開設

### 『おうちで郷公園』

新型コロナウイルスの感染拡大により、郷公園は3月4日から5月18日まで臨時休園が続きました。そんな中、自宅から郷公園の活動やコウノトリのことについてご覧いただけるように、YouTubeに郷公園公式チャンネルを開設して『おうちで郷公園』の動画配信を開始しました。現在、コウノトリの生態や野生復帰の歴史についての動画をアップしています。ぜひ一度ご覧ください。



## 『約束のケージ』が登録有形文化財に



コウノトリ飼育場(現コウノトリ保護増殖センター) 第1フライングケージは、1965年に野生のコウノトリを捕獲し、初めて収容したケージです。当時の飼育員が「いつか野生にかえす」と約束したという逸話があり、いつしか『約束のケージ』と呼ばれるようになりました。野生個体絶滅後は、コウノトリの野生復帰事業の中心的な役割を担う施設として活躍しました。今回、コウノトリの野生復帰に向けた先駆的な取組の象徴として評価されました。2019年7月の国の文化審議会の答申を受け、同年12月5日に有形文化財に登録されました。

普段は非公開の施設ですが、年に一度「特別公開」を実施して公開しています。今年は11月3日(火・祝)に実施する予定です。ぜひお越しいただき、コウノトリの野生復帰の歴史を感じてください。

## イベント報告

### 200羽到達記念缶バッジの配布

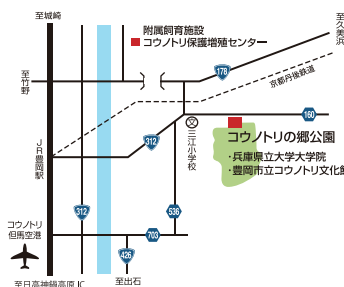
2020年6月25日、野外コウノトリの個体数が200に到達しました。2005年の放鳥開始から約15年かかりました。

県立コウノトリの郷公園ではこれを記念して横断幕やのぼりを設置しました。また、6月26日～28日の3日間は、来園されたすべての皆様に記念缶バッジを配布しました。小さなお子様からご年配の方まで、大変喜んでいただきました。



## ACCESS !

- ◎神戸から[約2時間30分]  
姫路から[約2時間]  
最寄り日高神鍋高原ICから30分
- ◎JR山陰本線「豊岡駅」から約4.5km  
全但バス(コウノトリの郷公園・法花寺・下の宮行き)
- ◎コウノトリ但馬空港から約12km



## 編集後記

3月以降、新型コロナウイルスの影響で臨時休園する日々が続きましたが、5月19日から開園再開することが出来ました。来園される方は少なめですが、徐々に以前のような活気が戻ってきています。コウノトリの郷公園では、検温や消毒、イベントの定員を制限するなどの対策を行っています。

ところで、ガイドウォークをしていると、コウノトリの名前は知っていても、どんな鳥かを知らない人が多いと感じます。たくさんの方にコウノトリの野生復帰に協力していただけるよう、これからもコウノトリの魅力や現状をもっと伝えていきたいと思っています。

この状況が収まり普段の生活に戻れたなら、またたくさんの方にお越しいただきたいと思っています。  
(自然解説員 箸中彩夏)



## 兵庫県立コウノトリの郷公園

Hyogo Park of the Oriental White Stork  
兵庫県豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128 tel: 0796-23-5666 fax: 0796-23-6538

開園時間: 9:00~17:00  
休園日: 毎週月曜日  
(休日に当たるときはその翌日)  
12月28日~1月4日

e-mail: kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp  
ホームページ: <http://www.stork.u-hyogo.ac.jp>  
facebookページ: <https://www.facebook.com/satokouen/>

